

STAR

サイレージブロックカッタ

取扱説明書・部品表

製品コード	K73013
型 式	MCS1620
部品供給型式	MCS1620-01

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社

STARR

C

C

⚠️ 安全に作業するために

安全に関する警告について

本機には、⚠️ 印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告ラベルについて

⚠️ 危険

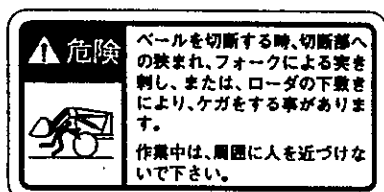
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

⚠️ 警告

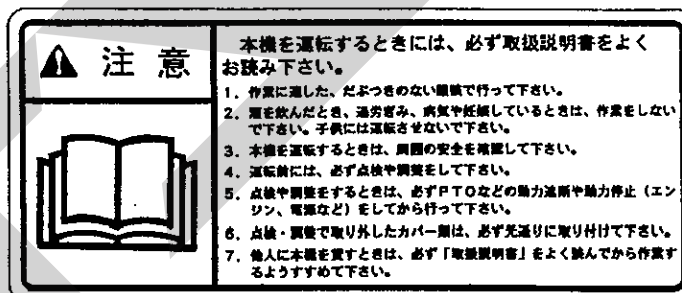
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

⚠️ 注意

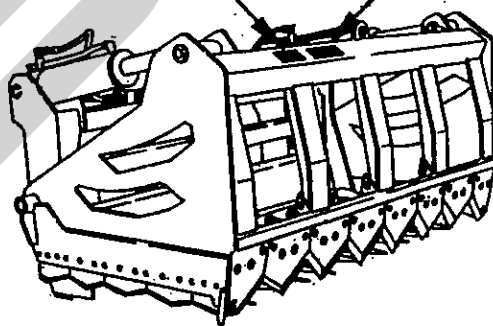
その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。



部品番号 106497



部品番号 106164



— ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業員などへ危険を知らせる大事なものです。ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。

注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、作業機およびトラクタ・フロントローダの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してからご使用ください。

作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

▲注意

- 機械の取り扱いで分からない事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こし、ケガをする事があります。取扱説明書は、分からない事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

▲注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項、取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

▲警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。次の場合は、運転しないでください。
 - 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
 - 酒を飲んだ時。
 - 機械操作が未熟な人。
 - 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

▲警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。次に示す服装で作業してください。
 - 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。

- ズボンや上着は、だぶつきのないものを着用する。
- 帽子を着用する。
- はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は

▲警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からないため、思わぬ事故を起こす事があります。取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

▲注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。機械の改造はしないでください。アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検の励行

▲注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

エンジン始動・発進する時は

▲警告

- エンジンを始動するとき、トラクタの横やステップに立ったまま行くと、緊急事態への対処ができず、運転者はもちろん周囲にいる人がケガをする事があります。運転席に座り、周囲の安全を確認してから行ってください。
- エンジンを始動する時、主変速レバーを「N」（中立）にして行わないと、変速機が接続状態になっているため、トラクタが暴走し思わぬ事故を起こす事があります。主変速レバーを「N」（中立）にして行ってください。
- 室内で始動する時、排気ガスにより中毒になる事があります。窓、戸などを開け、十分に換気をしてください。

作業機を着脱する時は

▲警告

- 作業機を着脱するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の人に人がいると、挟まれてケガをする事があります。トラクタと作業機の人に人を近づけないでください。

▲注意

- 油圧配管の取り外しや取り付けをする時、圧力がかかっていると、飛び出る高圧オイルあるいはフロントローダの急な降下で、ケガをする事があります。作業をするのに都合の良い位置に降ろし、台などで降下防止をして、油圧配管に圧力がかからないようにして行ってください。
- 作業機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 装着するトラクタによっては、バランスが悪くなり、思わぬ事故をまねく事があります。トラクタの前部ウエイト、前輪ウエイトをはずし、後部ウエイトを取り付けてバランスを取ってください。

公道走行時は作業機の装着禁止

▲注意

- トラクタに作業機を装着して公道を走行すると、道路運送車輛法に違反します。トラクタに作業機を装着しての走行はしないでください。

移動走行する時は

▲危険

- 移動走行する時、トラクタのブレーキペダルが左右連結されていないと、片ブレーキになり、トラクタが左右に振られ横転などが起こり、思わぬ事故をまねく事があります。ほ場での特殊作業以外は、ブレーキペダルは左右連結して使用してください。

▲警告

- トラクタに運転者以外の人を乗せると、トラクタから転落したり、運転操作の妨げになって、緊急事態への対処ができず、同乗者はもちろん、周囲の人および運転者自身がケガをする事があります。トラクタには、運転者以外の人を乗せないでください。
- 急制動・急旋回を行うと、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。急制動・急旋回はしないでください。
- 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しすぎると、転倒あるいは転落事故を起こす事があります。低速走行してください。
- 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を走行すると転落事故を起こす事があります。路肩は走行しないでください。
- 高低差が大きい段差を乗り越えようとすると、トラクタが転倒あるいは横転し、ケガをする事があります。あゆみ板を使用してください。
- 作業機を下に降ろした状態で移動走行すると、障害物などにぶつかったり、周囲の人に追突し、ケガをする場合があります。移動走行する場合は、持ち上げて行ってください。

作業中は

作業する時は

▲危険

- 切出しする時、切断部への挟まれ、フォークによる突き刺し、または、ローダの下敷きによりケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。

▲警告

- 作業をする時、周囲に人を近づけると、機械の下敷きや追突などにより、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。
 - 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。低速で作業してください。下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりでください。
 - わき見運転をすると、周囲の障害物の回避や周囲の人への危険回避などができず、思わぬ事故を起こす事があります。前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運転してください。
 - 手放し運転をすると、思わぬ方向へ暴走し、事故を起こす事があります。しっかりとハンドルを握って運転してください。
 - 旋回する時、周囲の人や物に衝突し、思わぬ事故を起こす事があります。周囲の人や物に十分注意してください。
 - ハウス内などの室内作業をする時、排気ガスにより中毒になる事があります。窓、戸などを開け、十分に換気をしてください。
- #### ▲注意
- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、エンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。エンジンをとめてから行ってください。

トラクタから離れる時は

▲警告

- トラクタから離れる時、傾斜地や凹凸地などに駐車すると、トラクタが暴走して思わぬ事故を起こす事があります。平坦で安定した場所に駐車し、トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて暴走を防いでください。
- トラクタから離れる時、サイレージブロックカッタのナイフフレームを開いたままにしておくで第三者の不注意により不意に降下しケガをする事があります。ナイフフレームを閉じ、フォークを接地させてからトラクタを離れてください。

作業が終わったら

機体を清掃する時は

▲注意

- エンジンを切らずに、付着物の除去作業などを行うと、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され思わぬ事故を起こす事があります。エンジンをとめてから行ってください。

終業点検の励行

▲注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。
- フロントローダを持ち上げて点検・調整を行う時、第三者の不注意により、不意に降下し、ケガをする事があります。フロントローダの油圧回路をロックして行ってください。

不調処置・点検・整備をする時

▲注意

- 機械に異常が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。取扱説明書に基づき行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、ケガをする事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- エンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意にトラクタが動いたり、フロントローダが昇降し、ケガをする事があります。エンジンをとめ、フロントローダの油圧回路をロックして行ってください。
- 作業機をあげた状態のまま下にもぐったり、足を入れたりすると、不意に降下し、ケガをする事があります。下に入る時は、フロントローダの油圧回路をロックして行ってください。
- ナイフフレームを開いた状態でナイフフレームの下に体を入れると、ナイフやフォークに接触しケガをする事があります。ナイフフレームの下には体を入れないでください。
- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルあるいは作業機の急な降下で、ケガをする事があります。補修もしくは部品交換してください。
- 油圧システムの補修や部品交換をする時、圧力がかかっていると、飛び出る高圧オイルで、ケガをする事があります。平坦な場所に作業機をおろし、エンジンをとめて行ってください。

も く じ

▲ 安全に作業するために

安全に関する警告について	1	作 業 中 は	4
作 業 前 に	2	作 業 が 終 わ っ た ら	4
		不調処置・点検・整備をする時	5

1 フロントローダへの装着

1 各部の名称とはたらき	8	3 フロントローダへの装着	9
2 組 立 部 品	9	4 外部油圧取出口への接続	9
1 解 梱	9		
2 組立部品の明細	9		

2 運転を始める前の点検

1 運 転 前 の 点 検	11	2 エンジン始動での点検	11
1 トラクタ各部の点検	11	1. トラクタおよびフロントローダ	
2. フロントローダの点検	11	油圧系統の点検	11
3. 連結部点検	11	2. 作業機油圧系統の点検	11
4. 製品本体の点検	11	3 給油箇所一覧表	12

3 作業の仕方

1 本製品の使用目的	13	2 作 業 要 領	13
------------	----	-----------	----

4 作業が終わったら

- | | | | |
|------------------|----------|-----------|----------|
| 1 作業後の手入れ | 14 | 3 長期格納する時 | 15 |
| 2 フロントローダからの切り離し | 14 | | |

5 点検と整備について

- | | | | |
|-----------|----------|-------------|----------|
| 1 点検整備一覧表 | 15 | 2 ナイフの研磨、交換 | 16 |
|-----------|----------|-------------|----------|

6 不調時の対応

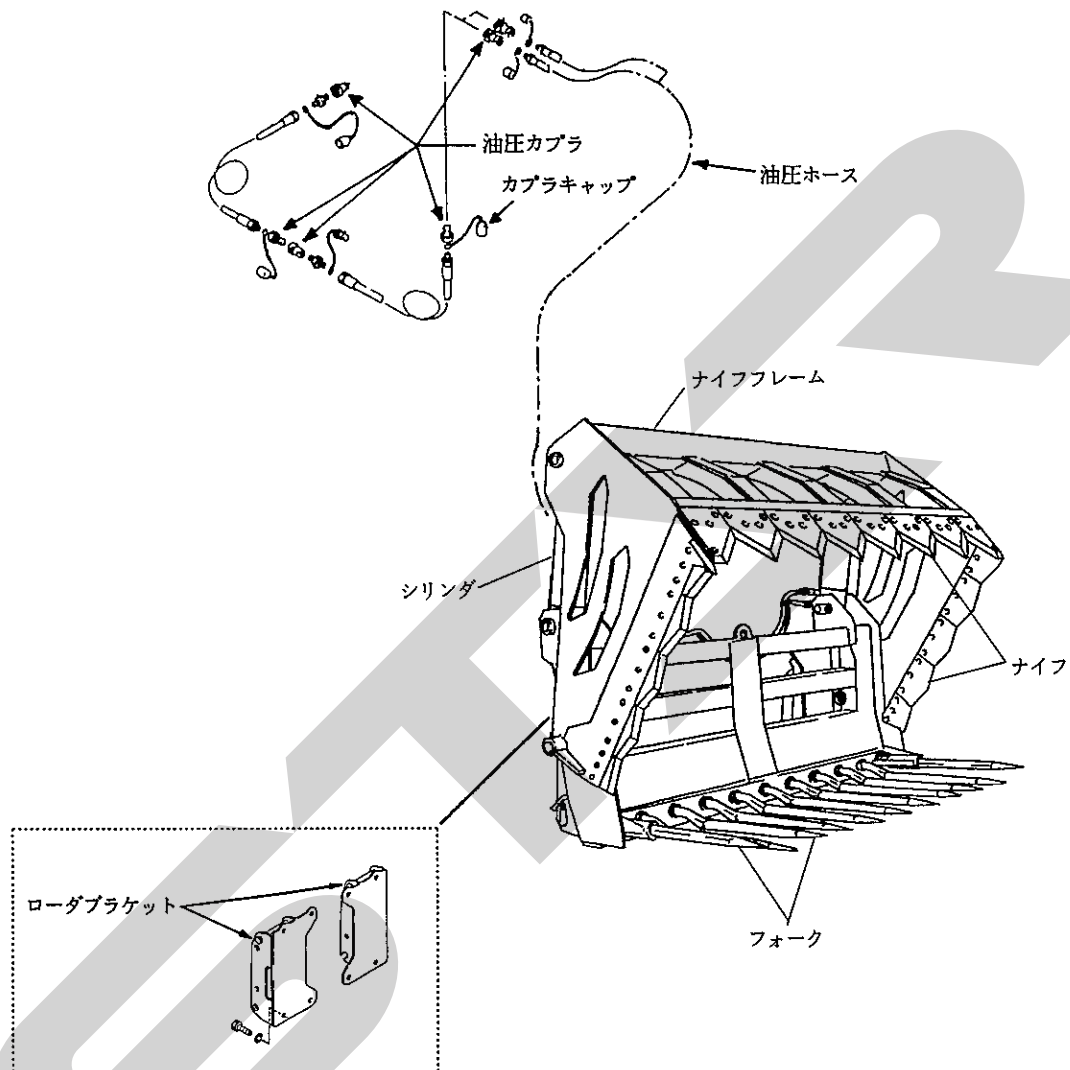
- | | |
|-----------|----------|
| 1 不調処置一覧表 | 17 |
|-----------|----------|

7 部品表 18

1 フロントローダへの装着

適切な装着で安全な作業をしましょう。

1 各部の名称とはたらき



- 1. サイレージブロックカッタ**
バンカー・トレンチ・スタックサイロの切出しを行う機械です。
フロントローダに装着して使用します。
- 2. ロードブラケット**
サイレージブロックカッタをフロントローダに装着するためのアダプタです。
- 3. ナイフフレーム、ナイフ**
サイレージを切断する部分です。
- 4. フレーム、フォーク**
切出しの時、切断したサイレージを保持します。
- 5. シリンダ**
油圧力でナイフフレームを開閉します。

2 組立部品

1. 解 梱

木枠に固定している部品をほどいてください。

2. 組立部品の明細

- (1) 同梱されている梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。
- (2) 組立に必要なボルト・ナット類は、梱包明細のボルト・ナット類の備考欄に「使用する部品の符号」を記載しています。
組立に際しては、参照してください。

3 フロントローダへの装着

▲ 警 告

- 作業機を着脱するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に入っていると、挟まれてケガをすることがあります。
トラクタと作業機の間に入らないでください。

▲ 注 意

- 作業機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こすことがあります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 装着するトラクタによっては、バランスが悪くなり、思わぬ事故をまねくことがあります。
トラクタの前部ウエイト・前輪ウエイトをはずし、後部ウエイトを取り付けてバランスを取ってください。

1. サイレージブロックカッタを、梱包からほどき本体フレームを地面に対して垂直になるようにしてください。
2. フロントローダから取り外したバケットなどのアタッチメント取付部に合わせて、ローダブラケットをサイレージブロックカッタ本体に対して左右対称になるようにフレームにボルト、ばね座金で仮締めしてください。
3. フロントローダを操作して、ローダブラケットとの着脱がスムーズにできることを確認してください。

4. 確認後、フロントローダから外し、ボルトを増し締めしてください。

取扱い上の注意

フロントローダとの装着方式は、フロントローダの種類によって異なります。

使用前には、フロントローダの取扱説明書をよくお読みになり、フロントローダとアタッチメントの取り付け、取はずしの取扱方法に基づいて装着してください。

4 外部油圧取出口への接続

▲ 注 意

- 外部油圧取出口への接続をする時、トラクタのエンジンをかけたまま行くと、第三者の不意により、不意にトラクタが動いたり、フロントローダが動き、ケガをすることがあります。
トラクタのエンジンをとめて行ってください。

作業機の油圧シリンダは複動でカプラは
本体側 3/8 メス
延長ホース 1/2 オス
となっています。

外部油圧取出口とカプラのサイズが異なる時は適合するカプラと交換してください。交換する時は、接続金具のテーパネジ（オス）にはシールテープを巻き付け、油圧オイルのもれがない様に、しっかりと締め付けてください。

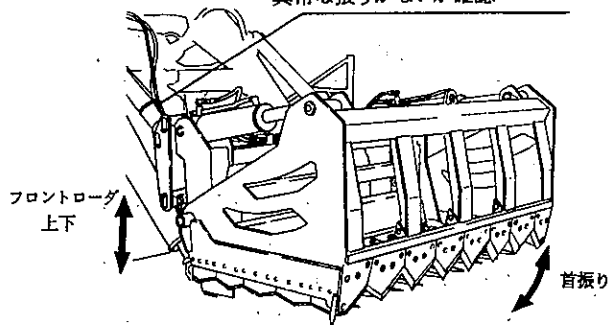
1. トラクタの外部油圧取出口へ接続する時

- (1) 油圧ホースの油圧カプラをそれぞれ接続し、フロントローダアームに添わせ、トラクタ及びフロントローダの運転操作や作動を考慮し、油圧ホースの接触・切断による破損がないようにインシュロックで仮止めしてください。
- (2) 油圧カプラをトラクタの外部油圧取出口に接続してください。
- (3) トラクタのエンジンを始動し、フロントローダ及びサイレージブロックカッタをゆっくりと作動させ、油圧ホースが異常に張ったり、引っかかりする箇所がないことを確認してください。
- (4) フロントローダを降ろし、トラクタのエンジンをとめて、仮止めしていたインシュロックをしっかりと締めて油圧ホースを固定してください。

▲ 注意

- フロントローダ及びサイレージブロックカッタを作動する時、周囲に人を近づけると、機械の下敷きや追突などにより、ケガをすることがあります。
周囲に人を近づけないでください。

油圧ホースの引っかかり、挟まり
異常な張りがなければ確認



2. フロントローダの外部油圧取出口へ接続する時

- (1) サイレージブロックカッタ本体側の油圧カプラをフロントローダの外部油圧取出口に接続してください。油圧ホースが短い時は付属の油圧ホースを使用してください。
- (2) 油圧ホースをフロントローダの作動を考慮し、油圧ホースの接触・切断による破損がないようにインシュロックで仮止めしてください。
- (3) トラクタのエンジンを始動し、フロントローダ及びサイレージブロックカッタをゆっくりと作動させ、油圧ホースが異常に張ったり、引っかかりする箇所がない事を確認してください。
- (4) フロントローダを降ろし、トラクタのエンジンをとめて、仮止めしていたインシュロックをしっかりと締めて油圧ホースを固定してください。

▲ 注意

- フロントローダ及びサイレージブロックカッタを作動する時、周囲に人を近づけると、機械の下敷きや追突などにより、ケガをすることがあります。
周囲に人を近づけないでください。

2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

1. トラクタ各部の点検

トラクタの取扱説明書に基づき、点検を行ってください。

2. フロントローダの点検

フロントローダの取扱説明書に基づき、点検を行ってください。

3. 連結部の点検

(1) ローダブラケット取付ボルトにゆるみはないか。

不具合が見つかった時は増し締めしてください。

(2) フロントローダへの連結部は、確実に取り付いているか。

不具合が見つかった時は、「1-3 フロントローダへの装着」の説明に基づき不具合を解消してください。

(3) トラクタもしくはフロントローダの外部油圧取出口への油圧カブラの接続は確実に行われているか。

また、油圧ホースに適度な余裕はあるか。

不具合が見つかった時は、「1-4 外部油圧取出口への接続」の説明に基づき不具合を解消してください。

4. 製品本体の点検

(1) 各部の取り付けボルト類にゆるみはないか。

不具合が見つかった時は増し締めしてください。

(2) 各部の給油は十分か。

不具合が見つかった時は「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油してください。

(3) 損傷部品はないか。

不具合が見つかった時は損傷部品を交換してください。

2 エンジン始動での点検

1. トラクタ及びフロントローダ油圧系統の点検
トラクタおよびフロントローダの取扱説明書に基づき点検を行ってください。

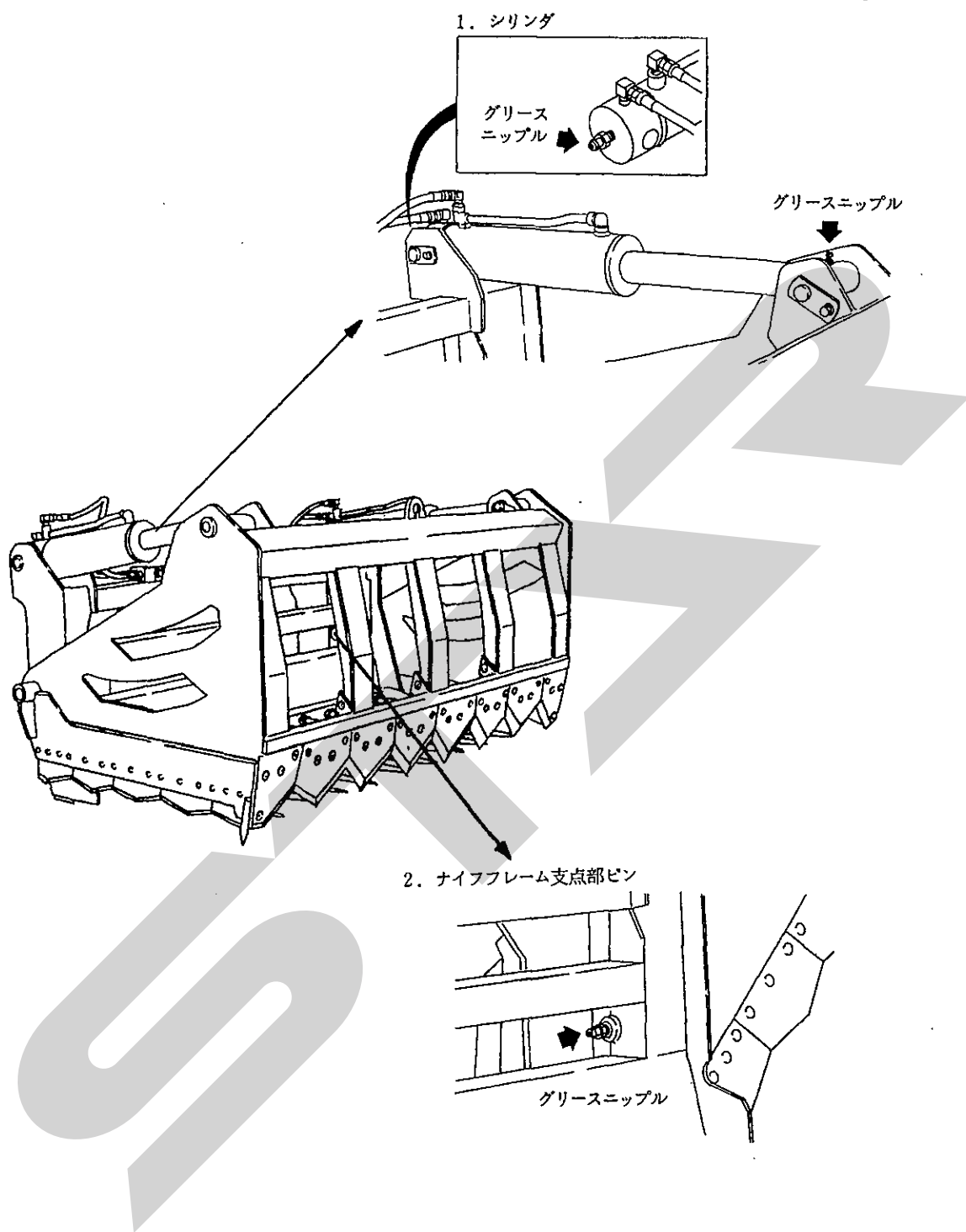
2. 作業機油圧系統の点検

サイレージブロックカッタのシリンダを作動させて、スムーズにナイフフレームの開閉が行われれば異常ありません。

不具合が見つかった時は、「6-1 不調処置一覧表」の説明に基づき不具合を解消してください。

3 給油箇所一覧表

グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され新しいグリースが出るまでです。



No.	給油場所	箇所	潤滑油の種類	交換時間	量	備考
1	シリンダ	4	グリース; 2号	使用ごと	適量	グリースニップル
2	ナイフフレーム支点部ピン	2				

3 作業の仕方

安全を確認して、慎重に作業してください。

1 本製品の使用目的

バンカー・トレンチ・スタックサイロのサイレー
ジの切出し作業に使用します。

他の用途には使用しないでください。

2 作業要領

▲ 危険

- 切出しする時、切断部への挟まれ、フォークによる突き刺し、または、ローダの下敷きにより、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。

▲ 警告

- 作業をする時、周囲に人を近づけると、機械の下敷きや追突などにより、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。
- 旋回する時、周囲の人や物に衝突し、思わぬ事故を起こす事があります。周囲の人や物に十分注意してください。

1. バンカー・トレンチ・スタックサイロの手前でフロントドーダを操作し、フォークを水平の状態にしてください。
2. 外部油圧レバーを操作し、ナイフフレームを全開にして、トラクタをゆっくり前進させサイレージに突き刺してください。
3. この時、できるだけサイレージをナイフフレームの中央に位置させて、左右のシリンダに均等な力がかかるようにしてください。
4. 外部油圧レバーを操作し、ナイフフレームを完全に閉じて、サイレージブロックカッタをスキイの方向に少し動かし、持ち上げてトラクタを後進させてください。

取扱い上の注意

サイレージの鎮圧が弱いと、ナイフフレームを閉じ切断する時に、フォークが持ち上げられます。

この時は、作業機を少し押し下げながらナイフフレームを閉じてください。

4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

1 作業後の手入れ

▲ 注意

- トラクタのエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意にトラクタが動いたり、フロントローダが昇降し、ケガをする事があります。
トラクタのエンジンをとめ、フロントローダの油圧回路をロックして行ってください。

1. 機械の上に残っているサイレージなどは、きれいに取り除いてください。
2. ボルト・ナット・ピン類のゆるみや脱落はないか確認してください。
ゆるみがあれば、増し締めしてください。
脱落があれば、部品表を見て指定するもの(サイズ、強度など)を購入し、速やかに取り付けてください。
3. 破損部品はないか確認してください。
破損部品があれば、速やかに部品交換してください。
4. 油圧系統(サイレージブロックカッタ)の継手部に油もれはないか、シリンダ・油圧ホースに破損はないか確認してください。
油もれがあれば、その箇所を取り外し、シールテープを巻き直して、再度取り付けてください。
シリンダなどの破損があれば、速やかに部品交換してください。
5. 各部の給油箇所は、「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油してください。

2 フロントローダからの切り離し

▲ 注意

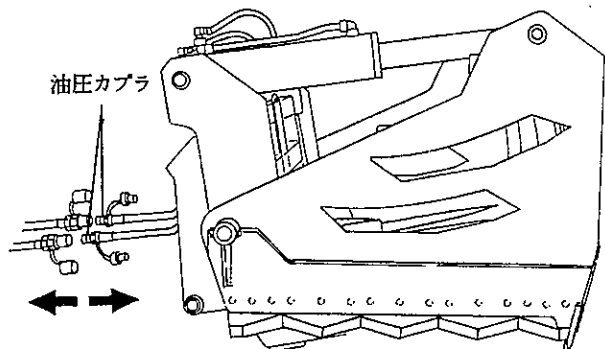
- 油圧配管の取り外しや取り付けをする時、圧力がかかっていると、飛び出る高圧オイルあるいはフロントローダの急な降下で、ケガをする事があります。
作業をするのに都合の良い位置に降ろし、台などで降下防止をして、油圧配管に圧力がかからないようにして行ってください。
- 作業機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。

1. ナイフフレームを閉じ、ナイフ先端がフォーク先端と同じ位置になる様にしてください。

取扱い上の注意

ナイフフレームの位置が適正でないとフロントローダへの装着の時に装着しづらくなります。

2. 切り離す場所へは、ナイフの破損をふせぐため、木などの台を置き、フロントローダを下げ、サイレージブロックカッタをおろしてください。
3. トラクタのエンジンをとめ、トラクタもしくはフロントローダの外部油圧レバーを動かし油圧回路内の圧力をぬいてください。
4. サイレージブロックカッタ本体側の圧力カバーを切り離してください。



5. 油圧カプラにカプラキャップを取り付けてください。
6. サイレージブロックカッタ本体をフロントローダの連結部から外してください。

取扱い上の注意

フロントローダの連結部は、フロントローダの種類により異なります。
フロントローダの取扱説明書に基づいて連結部からの取り外しを行ってください。

3 長期格納する時

1. 機体各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき、油脂を補給してください。
回動支点部およびフロントローダ取付部には、注油してください。
4. 塗装損傷部は、補修塗装または油を塗布し、さび防止をしてください。
5. 格納は、風通しのよい屋内に保管してください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。

機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に基づき、各部の点検・整備を行い、機械を最良の状態、安心して作業が行えるようにしてください。

▲ 注意

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、ケガをする事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- エンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意にトラクタが動いたり、フロントローダが昇降し、ケガをする事があります。
エンジンをとめ、フロントローダの油圧回路をロックして行ってください。

- 作業機をあげた状態のまま下にもぐったり、足を入れたりすると、不意に降下し、ケガをする事があります。
下に入る時は、フロントローダの油圧回路をロックして行ってください。
- ナイフフレームを開いた状態で、ナイフフレームの下に体を入れると、ナイフやフォークに接触し、ケガをする事があります。
ナイフフレームの下には体を入れないでください。
- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルあるいは作業機の急な降下で、ケガをする事があります。
補修もしくは部品交換してください。
- 油圧系統の補修や部品交換をする時、圧力がかかっていると、飛び出る高圧オイルで、ケガをする事があります。
平坦な場所に作業機をおろし、エンジンをとめて行ってください。

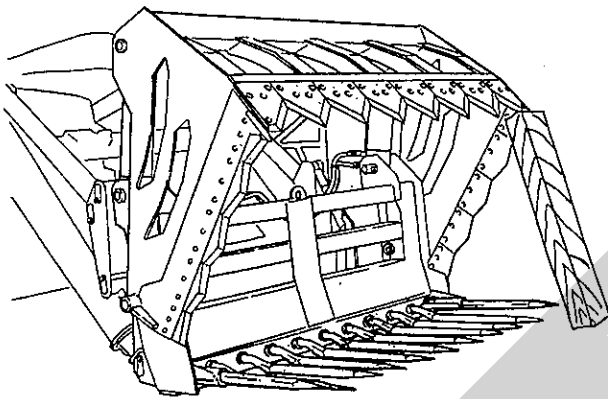
1 点検整備一覧表

時 間	項 目	処 置
使 用 毎	機械の清掃 部品脱落、破損部 各部のボルト・ナットのゆるみ 各部の給油 油圧継手からの油もれ	取付、部品交換 増し締め 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油 シールテープを巻き、再取付又は増し締め

2 ナイフの研磨、交換

ナイフの切れ味が悪くなった時や破損した時はナイフを研磨または交換してください。

1. 本体をフロントローダに装着して、トラクタのエンジンをとめて行ってください。
2. ナイフを取付けているボルトをゆるめ、ナイフを外してください。
3. ナイフフレームを開いた状態でナイフを外す時は、フォークを接地させ、ナイフフレームに木材などで降下防止をして行ってください。



取扱い上の注意

ナイフの先刃は鋭利ですので、取扱いには十分注意してください。

4. ナイフを研磨するときは、刃先に熱が出ないように注意して研いでください。
5. ナイフは、取付けの位置によって異なりますので、部品表に基づいて交換、取付けを行ってください。

6 不調時の対応

エンジンをとめてから処置してください。

▲ 注意

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、ケガをする事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- エンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意にトラクタが動いたり、フロントローダが昇降し、ケガをする事があります。
エンジンをとめ、フロントローダの油圧回路をロックして行ってください。
- 作業機をあげた状態のまま下にもぐったり、足を入れたりすると、不意に降下し、ケガをする事があります。
下に入る時は、フロントローダの油圧回路をロックして行ってください。

- ナイフフレームを開いた状態で、ナイフフレームの下に体を入れると、ナイフやフォークに接触しケガをする事があります。
ナイフフレームの下には体を入れしないでください。
- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルあるいは作業機の急な降下で、ケガをする事があります。
補修もしくは部品交換してください。
- 油圧システムの補修や部品交換をする時、圧力がかかっていると、飛び出る高圧オイルで、ケガをする事があります。
平坦な場所に作業機をおろし、エンジンをとめて行ってください。

1 不調処置一覧表

使用中あるいは点検中に機械の調子が悪いときは、表を参考にし、必ずエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけてから処置してください。

症 状	原 因	処 置
ナイフフレームが動かない	トラクタもしくはフロントローダの外部油圧取出回路がロックされている	トラクタもしくはフロントローダの取扱説明書に基づき、ロックを解除する
	油圧カプラが接続されていない	油圧カプラを接続する

原因や処置のしかたがわからない場合は、下記事項とともに購入先にご相談ください。

1. 製 品 名
2. 部品供給型式 (型式)
3. 製 造 番 号
4. 故 障 内 容 (できるだけ詳しく)

7 部 品 表

部品のご注文について

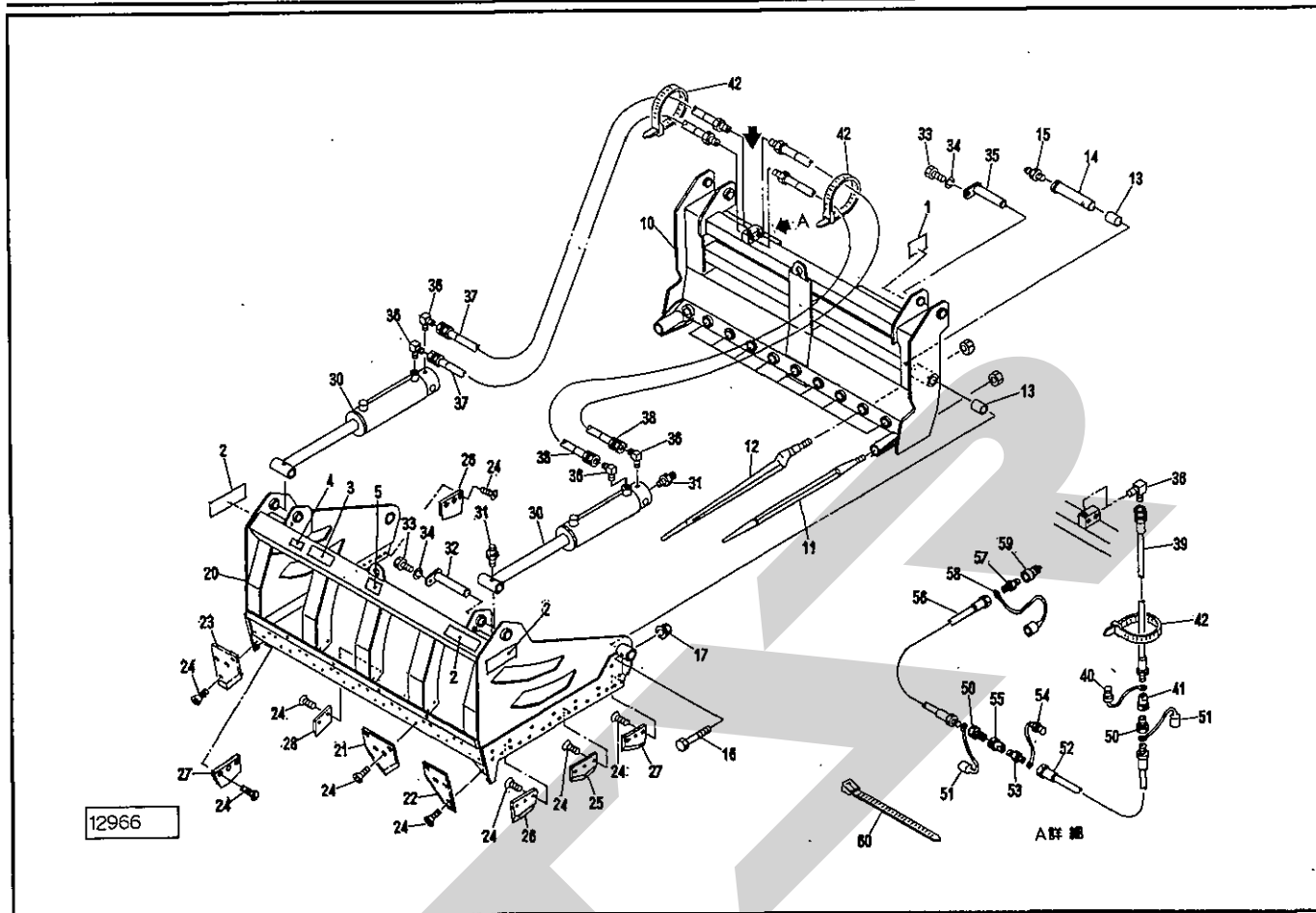
1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。
 - ① 製品名
 - ② 部品供給型式（型式）
 - ③ 部品名称（部品表を参照してください）
 - ④ 部品番号（部品表を参照してください）
 - ⑤ 個 数（部品表を参照してください）※部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。
2. 個数欄の☐、☑は、以下のことを表しております。
 - ☐…シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品
 - ☑…アッセイ品に含まれる部品で単品では供給しない部品

補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。補修部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は納期および価格についてご相談させていただきます。

MCS 1620 サイレージブロックカタ

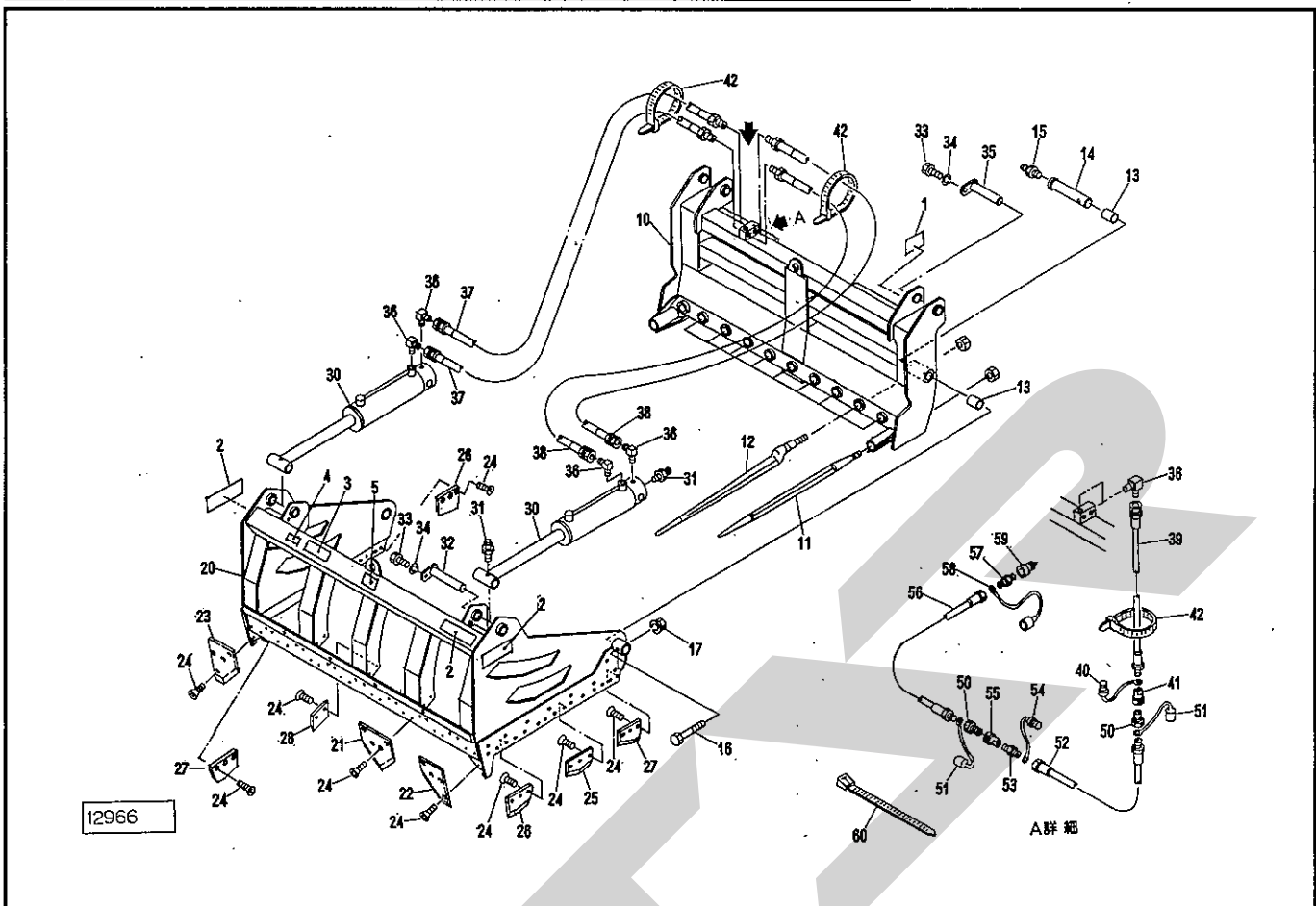
マーク、フレーム・ナイフフレーム・ユアツ、ユアツホース



見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1		D ガタネームプレート	1	
2	0008360000	STAR マークラベル ; 40シロ	3	
3	1061640000	ラベル ; ケイコク1	1	
4	1064971000	ラベル ; ケイコク83	1	
5	0818820000	チュウイマーク	1	
10		フレーム ; 1.6m	1	
11	1153460006	フォーク ; ストレート	2	
12	1153470006	フォーク ; クランク	9	
13	KBB-4050B	カーボンドライブアリング B 40×44×50	4	
14	092912000M	ピン ; φ40×200	2	
15	ONAS1	グリースニップル A PT1/8	2	
16	BSZ10070	コガタボルト 7 M10×70	2	
17	NNF10	フランジナイロンナット M10	2	
20		ナイフフレーム ; 1.6m	1	
21	0928882006	ナイフ ; センタ	6	
22	0928890006	ナイフ ; L	1	
23	0928900006	ナイフ ; R	1	
24	BJ12020	サラキャップ B 10.9 M12×20	68	
25	1157290006	ナイフ ; サイド1	6	
26	1157300006	ナイフ ; サイド2	2	
27	1157310006	ナイフ ; サイド3	2	
28	1157320006	ナイフ	3	

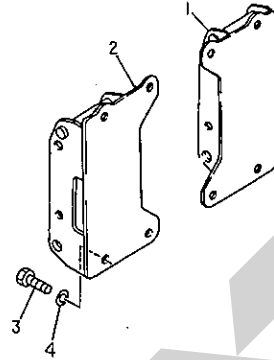
MCS 1620 サイレジブロックカタ

マーク、フレーム・ナイフフレーム・ユアツ、ユアツホース



見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
30	1153450006	シリンダ; CWP 100×355×545	2	
31	ONAS1	グリースニップル A PT1/3	4	
32	092924000M	ピン; φ30×180	2	
33	BSZ10020	コガタボルト 7 M10×30	4	
34	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M10	4	
35	092926000M	ピン; φ30×160	2	
36	1033-06	ホースエルボ PF3/8×PT3/8	6	
37	KH0600630AP	ユアツホース 3/8×630 1-4	2	
38	KH0601250AP	ユアツホース 3/8×1250 1-4	2	
39	KH0601000AP	ユアツホース 3/8×1000 1-4	2	
40	0007771000	カブラプラグ; 3/8	2	
41	CLF30F	カブラ (メス); 3/8	2	
42	ILT200	インシュロックタイ 4.7×202	3	
50	CLF30M	カブラ (オス); 3/8	4	
51	0007761000	カブラキャップ; 3/8	4	
52	KH0604000AP	ユアツホース 3/8×4000 1-4	2	
53	1013-06	ホースニップル PF3/8×PT3/8	2	
54	0007771000	カブラプラグ; 3/8	2	
55	CLF30F	カブラ (メス); 3/8	2	
56	KH0603150AP	ユアツホース 3/8×3150 1-4	2	
57	1013-06-08	ホースニップル PF3/8×PT1/2	2	
58	0007781000	カブラキャップ; 1/2	2	
59	CLF40M	カブラ (オス); 1/2	2	
60	ILT380	インシュロックタイ 7.5×382	5	

MCS 1620 サイレージブロックカタ ローダブラケット



12165

見出番号	部品番号	部 品 名 称	個数	備 考
1		ローダブラケット ; L	1	
2		ローダブラケット ; R	1	
3	BZ20040	ボルト 8.8 M20×40	8	
4	WSA20	バネザガネ 3ゴウ M20	8	

本社	066	千歳市上長都1061番地2 TEL 0123-26-1123 FAX 0123-26-2412
千歳営業所	066	千歳市上長都1061番地2 TEL 0123-22-5131 FAX 0123-26-2035
旭川営業所	070	旭川市神楽4条9丁目3番31号 TEL 0166-61-6131 FAX 0166-62-8985
豊富出張所	098-41	天塩郡豊富町字上サロベツ1191番地 TEL 0162-82-1932 FAX 0162-82-1696
帯広営業所	080-24	帯広市西22条北1丁目12番地 TEL 0155-37-3080 FAX 0155-37-5187
北見出張所	090	北見市小泉302 TEL 0157-24-3880 FAX 0157-61-1344
中標津営業所	086-11	標津郡中標津町北町2丁目16番2 TEL 01537-2-2624 FAX 01537-3-2540
花巻営業所	025-03	岩手県花巻市二枚橋第三地割333-1 TEL 0198-26-5741 FAX 0198-26-5746
仙台営業所	985	宮城県多賀城市町前2丁目4番27号 TEL 022-367-4573 FAX 022-367-4846
小山営業所	307-02	栃木県小山市梁2512-1 TEL 0285-49-1500 FAX 0285-49-1560
名古屋営業所	480-01	愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191 TEL 0587-93-6888 FAX 0587-93-5416
松本出張所	399	長野県松本市大字笹賀5824-5 TEL 0263-26-5731 FAX 0263-26-5761
岡山営業所	700	岡山県岡山市下中野704-103 TEL 086-243-1147 FAX 086-243-1269
熊本営業所	862	熊本県熊本市長嶺南1丁目2番1号 TEL 096-381-7222 FAX 096-384-3525
都城営業所	885	宮崎県都城市都北町3537-1 TEL 0986-38-1045 FAX 0986-38-4644